

インドネシア現地での資金調達支援について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）との連携により「スタンドバイ・クレジット制度」を活用し、インドネシアの銀行であるバンクネガラインドネシアに対して、株式会社東北安全ガラス（代表取締役 児玉 修）の同国現地法人の債務を保証する信用状を発行いたしました。

「スタンドバイ・クレジット制度」とは、中小企業・小規模事業者が海外現地法人等と共同で新たな事業活動等を行うために必要となる現地流通通貨建て資金の調達を支援する制度です。

本制度利用のメリットとして、海外現地法人などが事業活動で得た資金をそのまま返済原資に利用できることによる為替リスクの回避や、海外の金融機関との取引関係の構築が挙げられます。

なお、本制度を活用した連携スキームは秋田県初となります。

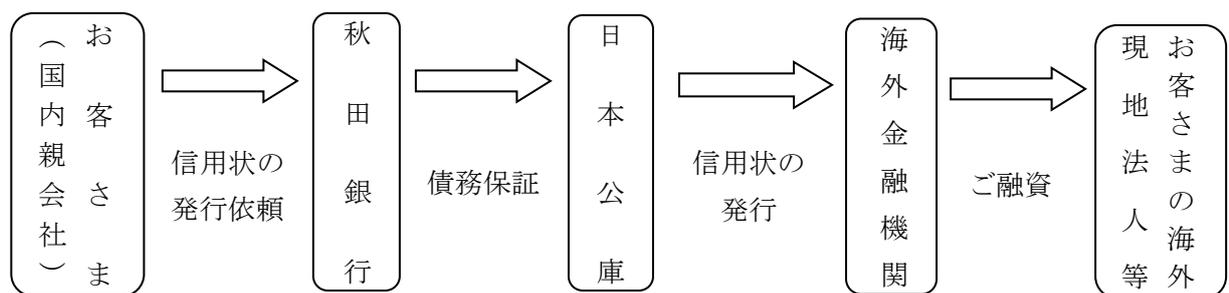
当行は、今後も日本公庫と連携し、お取引先の海外展開を積極的にサポートしてまいります。

記

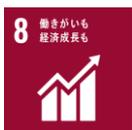
1 取組概要

企業名	株式会社東北安全ガラス
代表者	児玉 修
所在地	秋田市八橋
業種	自動車部分品・付属品卸売業
保証内容	株式会社東北安全ガラスのインドネシア現地法人がバンクネガラインドネシアから調達する資金に対する保証

2 本制度スキーム図



(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。